

見晴台自治会新聞

2025-7 号行
2025.12.15 発
治務
自事

「わいわい祭り」は共同作業で作り来場者にふるまう「おおなべ芋煮づくり」が中心。他に世代交流を図るコーナーとして、世代の異なる人同士が紹介しあうスタンプラリー、

初開催「わいわい祭り」

一 地域内の対話を増やす機会に

十一月九日(日)自治会館にて自治会、見晴台の子サポートーズクラブ(MSC)、ひまわり会の共同開催による、町内の世代間交流促進を目的とした「わいわい祭り」が開催された。大人も子供も一緒になって芋煮作り、世代毎チーム対抗でのゲーム等、普段交流のない人と共通の目的を達成することで、地域内の繋がりを広げた。

この企画は、自治会長指名のメンバーが担う、中長期課題検討会で取り組むテーマの一つ「地域づくりあい育成活動」がきっかけ。昨年度地域内ミーティングとして自治会関係団体のPTA(今年度より子供会と統合しMSCを結成)、ひまわり会等と意見交換を行い、子育て世代にとつて魅力となる世代を超えた繋がり、ひまわり会の会員とだけでなく交流や活動を広げたいといった、自治会の想いと結びつく意向が分かった。議論を重ね、子供から高齢者まで相互の町内顔見知り拡大に向け、「一緒に作る、一緒に食べる、一緒に片付ける」共同作業を通じ会話ができる行事を、連携して開催することが提案された。

行事の具体化は自治会伊藤副会長が中心となり、関係団体と打ち合わせを繰り返し、自治会行事の計画に織込めるよう事業統括部との調整を図った。



会館内だけでなく、駐車場も利用し芋煮のふるまい等が行われた



「わいわい祭り」を開催

高齢者が一緒にを行う鉄道模型の操車を計画、更に地域の協力を得て、フリー・マーケット(ひまわり会)、読み聞かせ(おはなしボランティア)、廃棄物分別クイズ(三島市職員)、スーパーボールすくい(自治会役員)がプログラムに加わった。

当日は自治会役員、関係団体、ボランティアのメンバーが自治会館に八時に集合し、それぞれの準備を始めた。雨模様となつたため、駐車場のテント配置を工夫しスタンプラリーやフリー・マーケット動線が濡れ難いよう配慮。会館内にはボツチャ、鉄道模型、廃棄物分別クイズのコーナーを準備。

メインの「おおなべ芋煮」は、調理室でひまわり会に加え自治会役員と家族のボランティアも加わり、子供達に作業を指導しながら三つの鍋の

準備が進んだ。鍋準備の目途がつくと、計画には無かったスイートポテトの調理をボランティアが子供達のために準備。調理室は子供達の期待で一段と賑やかになった。

十時の開会宣言により「わいわい祭り」がスタート。雨天のため来場が心配されたが、既に三十名程度が入場。各コーナーも始まり、スタンプラリーの用紙を持った子供と大人が、自治会館の各所で自己紹介をしていた。ボツチャは午後に開催される大会に向け、興味のある人達は練習、審判担当の自治会役員はルールの再確認を開始。鉄道模型も最初は興味深げに眺めていた人達が、徐々に操車を楽しみだした。

十一時半から駐車場のテントにて芋煮のふるまいが始まり、各コーナーに参加していた来場者はもちろん、芋煮を自宅でゆつくり味わおうと鍋やタツバーキーを持参する住民も来場。芋煮コーナーには行列ができ、百二十杯のるふるまいが行われた。

午後になるとボツチャのゲームが始まり、戸惑いながらスタートした参加者も次第に夢中になり、子供から高齢者まで一緒に楽しんだ。

初開催で手探りが続いた運営であつたが無事に終了。来場者は約百人で想定を超える賑わいになつた。

「わいわい祭りは」開催の目的に基づいて「赤い羽根」地域福祉活動事業の助成を受ける申請を行つてゐる。従来十一月に開催していた「文化祭」とは主旨の異なるイベントとなるが、地域内の交流活性につながる見晴台にとつてより必要とされる行事として、今後も継続される方針。

※ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

年内最後のボランティア清掃実施される

十一月十六日(日)ボランティア清掃(キレイにして一斉清掃により、雑草は刈込まれ景観を保っているため、今回は道路を挟んだ桜公園やその奥の電話設備周辺を中心に、歩道や路肩まで清掃を実施。九時に集合したボランティアの参加者は、刈払い機や鎌、竹箒を手に、一時間半程の作業を行つた。冬季は雑草の伸びも鈍るため、十二月、一月はボランティア清掃を行わず、次回は二月実施の予定。

※ボランティア参加の皆様、どうもありがとうございました。

中長期課題検討会をはじめとする

自治会活動の紹介

少子化・高齢化といった見晴台の将来を見据えた活動に取り組むため、令和三年度から会長が指名するメンバーによる中長期課題検討会を立ち上げました。現在「見晴台おたがいさまサービス」と称し極近隣への移動支援等の困りごと相談(試行)、地域包括センターの活動PRや「わいわい祭り」のような地域づきあい育成活動を行つています。

自治会ではこの他にも見晴台の課題について、行政への働きかけ等の活動をしています。利用者減少等を理由に減便されるバスの対策として運行開始したデマンドタクシー、災害時の避難誘導を目的とした要支援／配慮者調査もその活動の一部です。活動の内容やその経緯は総会資料に記載されています。

わいわい祭り紹介



特別企画のスイートポテト作り
は、子供たちも満足



ふるまいには列ができた



芋煮づくりを子供達に指導しながら共同作業で調理

おおなべ芋煮づくり



Nゲージ(鉄道模型)操車
前進・後退・ポイント切り替え
操車を体験



ボッチャ
世代毎のチームで対戦



わたしはこういうものですスタンプラリー



スーパー ボール すくい
子供に人気の
スーパー ボール すくい



廃棄物分別クイズ
三島市廃棄物対策課による
ゴミの分別クイズ



読み聞かせ
おはなしボランティアぴこぴこ
による読み聞かせや紙芝居



ハンドメイド フリーマーケット
ひまわり会による
手作り作品の販売